

第 100 回 薬剤師国家試験問題検討委員会「実務」部会報告書

平成27年5月27日

日 時 平成27年 5月16日(土)13:00 ~ 17:00

場 所 長崎国際大学

出席者

私立大学	57校	74名
国公立大学	15校	16名
計	72校	90名

委員長名	仮屋 蘭 博子
所属大学名	長崎国際大学

1. 総合評価

現場を意識した内容が比較的多く出題され、十分に考えさせて解答する問題や連問などもあり、概ね良問であった。難易度に関しても概ね適切であった。

一方、リード文の表現が適切でないと判断される問題や特定の医薬品の特徴や性状の細部を問う問題が一部に見られ、これらは不適切であると考えられた。

処方の記載方法については、医薬品名の表記法に統一性がみられないため、問題全般にわたり統一した表記法で記載されることが望まれる。また、新薬の出題に関しては、発売後の経過年数の範囲や基準を明示されることが望まれる。

2. 各項目の評価

1)「誤りがあると判断された問題」

問218：77歳男性に、メトホルミン塩酸塩錠が処方されており適切でない。

問328：ただし書きの記載「脂肪乳剤の投与」を考慮して解答すると、誤解答となるため、この記載は不要である。

2)「問題の観点から不適切である問題」

問196：問題の内容が細部の知識を求めるものである。

問197：不適切とはいえないが、一薬剤の細部の知識を問うものであり、好ましくないとされる。

問200：実務の問題か疑問である。

問208：「超速効型インスリン」は通常のインスリン製剤を使用すべきである。

問210：「担当薬剤師」を「麻薬管理者」にすべきである。

問225：設問の設定が、非現実的であり、本邦でのドーピング事例の多くが「うっかりドーピング」であることを考えると、感冒薬の選択などの設定の方が現実的のように思われる。

問226：トランスフェリンの検査値はかなり難易度が高いので、正常値を記載するなどしたほうがよいのではないかと。→記載するかどうかのディスカッションを出題委員の先生方がしているのか。学生に解けるかどうかの検討をしっかりとっているのかどうか。もししていないのであれば、問題なのではないか。また、このように、細かい検査値を問う問題は如何なものか。一つ一つの選択肢の中に、絶対に間違いであると否定できない内容がある（過去6か月間の体重変動など）…検査値しか書かれていないので。

問228：特定保健用食品と栄養機能食品の違いを問いたかった問題だと思うのだが、設問と選択肢の関係からはその意図が読み取れない。来局者の質問内容がわからないので設問としてわかりにくい。

問232：国家試験問題で、滴下型・容量型の違いを問う問題は難しいのではないかと。

問246：ゾピクロンとの相互作用まで含めた設問である。
ニコチン製剤は妊婦には禁忌であるから、設問2は「ニコチンパッチ・ニコチンガムは、・・・」とすべきではないか？

問248：選択肢3は、添付文書やインタビューフォームのどこにも記載がない。実際の薬剤業務で、同様の服薬指導をすることはない。設問の趣旨が不明なので、国家試験で問う必要性がないのではないか？選択肢3は、「この点眼剤に・・・」と限定した上で、この注意点を説明する根拠が乏しい。

問250：容易な設問であり、出題意図はシンプルである。

問256：必須問題相当である。

問270：「食中毒」という表現は不適切。

問272：海外ではボラス投与が認められている。

問282：「優先順位が低い」という表現は理解しにくい。

問284：ハルナールD固有の服用方法についての出題は難易度が高い。

問306：エトレチナートは、処方頻度が少ないため問題としていかなものか。

問309：内科でも循環系なのか等記載が必要である。

問310：マクロゴール軟膏だけを単独で使用するのではない。説明を詳細に記載すべきである。

問318：不適切ではないが、センナのエビデンスが乏しいので、問題としていかなものか。

問328：ただし書きに脂肪乳剤投与の記載があるが、本記載の捉え方によって答が異なる。脂肪乳剤の記載は受験者が混乱し不要。

問333：手指症候群の発症は、ソラフェニブが有名だが学生には難問。分子標的治療薬による皮膚症状の問題であるが、個々の薬剤を選択させるのは難しいのではないか。

問342：問題文のみでは、感染性下痢を否定しきれない。ロペラミド塩酸塩を不十分な情報で投与するのは危険である。水様便と発熱の有無のみで一般用医薬品を推奨するのは不適切である。

3)「問題・選択肢の表現が不適切である問題」

問196：注射用製剤とリポ製剤の比較についての情報提供が必要な状況にもかかわらず、選択肢が的を外した内容となっている。

問197：選択肢は医師に情報提供する内容として適切でない。

問200：実務の問題か疑問である。

問202：「薬剤師がおこなうこと」のように、紛らわしい表現は望ましくない。

問210：「麻薬帳簿または廃棄簿」という表現は、適切でない。「廃棄届」との表現は適切でない。

問218：「上記の追加処方に関する記述・・・」とあるのにボグリボースに関する質問があり、質問文と一致していない。

問225：内容が解らなくても選択できる。

問228：問題自体が適切性を欠いているので、選択肢が間違いというよりも、内容があいまいになっているように思う。

問232：選択肢2の「滴下型の持続注入ポンプ」は添付文書内の言葉でないので、不適切であると思われる。

問236：せっかくトピックスとしての問題であるのに、消去法で解ける問題になってしまっているため、もう少し選択肢を工夫したほうがよいのではないか。

問246：医療用医薬品と一般用医薬品が混在することに違和感がある。
ニコチン製剤は妊婦には禁忌であるから、設問2は「ニコチンパッチ・ニコチンガムは、・・・」とすべきではないか？

問248：選択肢3は、添付文書やインタビューフォームのどこにも記載がない。実際の薬剤業務で、同様の服薬指導をすることはない。設問の趣旨が不明なので、国家試験で問う必要性がないのではないかと限定した上で、この注意点を説明する根拠が乏しい。選択肢5は、1回1滴、1日1回、両眼に点眼で、14滴で無くなるというのは、あまりに不自然な設定である。

問258：「ヘリコバクター・ピロリ菌」で「菌」は不要ではないか。

問261：選択肢4は、問題の背景に関係なく、坐薬の一般的な注意点であり、選択肢の意図がよくわからない。一方、「排便後に・・・」という説明は、骨転移の患者に説明する内容としては適切ではないのではないかと。

- ・もう少し患者背景を参考にした選択肢が作成できたのではないかと。
- ・処方4のゾレドロン酸水和物注射液4mgについては、点滴静注であるため、100mL製剤かもしくは生食、ブドウ糖液等の処方記載があった方が良いと思う。処方としては不備な記載であるため違和感を感じる。
- ・処方4は外用剤であるため、全量表記とすべきである。

問263：処方2の用法は、「毎食後」ではなく「朝昼夕食後」とするべきである。

問264：ロサルタンKはロサルタンカリウムとすべきである。

問266：「Na」は「ナトリウム」とし、国試では成分名で記載すべきである。

問270：「食中毒」という表現は「腸管内感染」のほうが良いのではないかと。

問274：5-HT₃ 受容体への親和性の要因があるので、「そのため」という表現は削除したほうが良い。

「トロピセトロン塩酸塩」は、2014年2月末日販売中止となり、国家試験期間には経過措置中であり販売されてはいたが、出題は好ましくない。作問中に販売中止が明らかであれば考慮すべき出題と考えられる。

問276：外用剤については販売名称で出題し、一般名を注釈としてつけるほうが良い。

問280：商品名で出題し、一般名を注釈に入れる。

問題文および選択肢4は、医学用語として、「インフルエンザウイルス感染症」としたほうが良い。

問282：「優先順位が低い」という表現は理解しにくい。

問284：徐放性粒を含有することを問うのは難易度が高い。

問291：リード文では、食事が普段の半分摂れているとなっている。解答の文では、食事が摂れなくてもとの表現となっており、表現が曖昧である。

糖尿病患者の治療背景が曖昧であるため、正答とは言えないのではないかと。

問292：「有効安全濃度域」という表記よりも、添付文書の「有効血中濃度」が適切ではないかと。

問296：「緊急安全性情報が発出された薬剤はどれか」でよいのではないかと。

問298：選択肢3は、男性が卵アレルギーでないことを確かめなければ、推奨できない。

問301：「その点滴する薬を使用する前に」は、「その注射薬を使用する前に」または、「追加薬を使用する前に」としてはどうか。

「胸部レントゲン」は、「胸部X線撮影」とすべきではないかと。

問305：「添加物が」は、「添加物が蓄積することにより」としたほうがよい。

問306：わかり易い、誤解のない表現にして欲しい。

問309：アスパラKは病棟にも置いてあり、設問として不適切。

問310：選択肢を医薬品名にすべき。あるいは、「・・・な基剤はどれか」にすべきである。

問333：他の選択肢にも手足症候群の可能性が考えられるため、「最も想定される」という出題であるが、選択肢が不適切である。

問336：問題文を簡潔にすべき。この問題の解答を導くにあたり問題文に患者背景を記載する必要が無い。

問337：適切であるが、ステロイドによる消化性障害のエビデンスが確立していないため、選択肢3「消化管障害」については好ましい選択肢とは言えない。

問338：選択肢全般、日本語の表現が不適切、漠然としている。
選択肢1の「薬剤情報提供書」は「薬剤情報提供文書」と記載すべき。
選択肢3の「内服薬の管理」はどの範囲を言っているのか不明確。
選択肢3の「医薬品情報を調査して」という言い回しが抽象的。
選択肢4の「患者観察」という表現が漠然としすぎている。

問339：選択肢1の「直接消費者に」という表現は曖昧である。

4)「複合性が不適切な問題」

問200：実務の問題ではない。

問208：（物理・化学・生物）ではヒトインスリンとなっており、超速効型インスリンをヒトインスリンとすべきである。

問210：問211が「解なし」のため判断できない。

問225：実務の問題がドーピング禁止薬の販売に対する薬剤師の態度を問う設問になっており、関連性が低い。

問246：問247の選択肢4は、問246の選択肢5のヒントになっている。247の4の選択肢から、5の選択肢が正しいことが連想される。

問255：問254の選択肢2は問255の選択肢4のヒントになりうる。

問264：医薬品名のみが関連しているだけで、基礎の問題も臨床の問題もシナリオを読まなくても解ける問題となっている。もう少し関連性のある設問が望ましい。

問266：問266より容易に回答ができ、関連性はむしろ強いと思われる。

問278：関連性はない

問287：問題の順番を変えたほうが、さらに複合性がよくなる。

問291：前問（問290）が実務の問題としてふさわしい。

問310：視点が外れている。

問312：複合性に乏しいので、今後設問の仕方を工夫して欲しい。

問314：複合性に乏しいので、今後設問の仕方を工夫して欲しい。

問324：複合性に乏しいので、今後設問の仕方を工夫して欲しい。

5)「授業で触れていない問題」

別紙1のとおり

6)「部会としての意見」欄に記載された事項

問81：基本的に問題ないと思われるが、ステップ5があったほうがより良い。

問88：基本的に問題ないと思われるが、併用禁忌なのは、インターフェロンの α と β であり、 γ は含まれない。

問196：薬品の選択をより使用頻度の高い物にすべきである。

問197：問196と197とを分けず、まとめて1問にすべきである。

問202：実際の業務でよく遭遇する内容にするべきである。

問206：アタザナビルとの併用については出題薬品を検討すべきである。

問212：間違いではないが、適切と言ってよいかどうか疑問である。「適切でないのはどれか」といった質問が良い。

問216：適切ではあるがやや難問である。実務の問題というより、病態・薬物治療の分野の問題である。

問220：ピモジドは、使用頻度が高い医薬品等を出題するのが望ましい。

問223：背景として痛風発作が発現しているところにフェブキソスタットを投与するというのは適切ではない。症状が治まってから投与すべき。

問238：処方箋の記載方法を、一般名記載するのか、商品名を記載し一般名を併記するのか統一していただきたい。

問248：選択肢の設定根拠が不明であり、設問の趣旨も不明瞭である。

問258：治療法の進展に対して、どこまでの知識を求めるのか、基準が明確化されることを望む。

問264：新薬の評価が確定するまでの時間を考えると、「発売以後何年以内の薬剤については出題しない」などの基準が必要ではないか？

問291：糖尿病患者におけるシックデイを問う問題としては評価できるが、正答を導くだけの患者背景と治療内容が明確に記載されていない。

問298：問題のリード文に、患者の卵アレルギーの有無について記載しておくべきである。

問301：ツベルクリン反応を行うことは間違いとはいえないが、ガイドラインに示されているIFNガンマ応答アッセイを選択肢として記載すべきではないか。また、関連問題として、問300の問題において剤型の記載が望ましい。

問302：リード文の内容を理解しやすい文にする。問題文がわかりにくい。「手洗いが不十分になりやすい部位はどこか」で充分である。

問305：難解であるが、今後教えるべき内容である。

問328：ただし書きに脂肪乳剤投与の記載があるが、本記載の捉え方によって答が異なる。脂肪乳剤の記載は受験者が混乱し不要。

問333：他の選択肢にも手足症候群の可能性が考えられるため、「最も想定される」という出題であるが、不適切問題であると思われる。

問336：問題文を簡潔にすべき。この問題の解答を導くにあたり問題文に患者背景を記載する必要が無い。

問337：大きな問題はないが、ステロイドによる消化性障害のエビデンスが確立していないため、選択肢3「消化管障害」については好ましい選択肢とは言えない。

問338：特に大きな問題ないが、日本語の表現が不適切、漠然としている。

問339：選択肢1の「直接消費者に」という表現は曖昧であり、不適切な問題である。

問342：問題文のみでは、感染性下痢を否定しきれない。ロペラミド塩酸塩を不十分な情報で投与するのは危険である。

7)その他特記事項

第100回の薬剤師国家試験では、物理・化学・生物の得点が基準に達しなかったことにより不合格となった受験生が一定数いたものと推察される。物理・化学・生物の必須問題に関して、資格試験としての難易度が妥当であったのか、その適切性を精査していただきたい。

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
必須問題	81	0	70	0	1	69	0	3	64	3	4	66
	82	0	69	0	2	66	1	2	66	1	2	67
	83	0	70	0	1	69	0	2	68	0	5	65
	84	0	70	0	0	67	3	1	67	2	10	60
	85	0	68	1	0	69	0	2	65	2	2	67
	86	1	68	0	3	65	1	1	67	1	3	66
	87	0	69	0	1	66	2	1	65	3	5	64
	88	0	69	0	1	68	0	0	69	0	2	67
	89	0	69	0	2	67	0	1	66	2	0	69
	90	0	69	0	1	68	0	2	66	1	2	67
一般問題 (薬学実践問題)	326	0	67	0	2	65	0	1	63	3	4	63
	327	0	68	0	1	67	0	1	67	0	5	63
	328	4	62	2	7	59	2	3	62	3	10	58
	329	0	67	0	1	65	1	0	67	0	5	62
	330	0	67	1	1	67	0	3	63	2	8	60
	331	0	68	1	1	66	2	0	68	1	10	59
	332	0	69	0	2	66	1	2	67	0	9	60
	333	2	67	0	4	64	1	2	67	0	13	56
	334	0	67	2	2	65	2	0	65	4	13	56
	335	0	68	0	0	67	1	0	67	1	13	55
	336	0	68	0	0	68	0	4	62	2	6	62
	337	0	68	0	2	65	1	3	65	0	8	60
	338	0	68	0	0	68	0	3	62	3	9	59
	339	1	65	2	2	63	3	1	65	2	10	58
	340	0	68	0	1	67	0	0	68	0	2	66
	341	0	68	0	1	66	1	0	67	1	16	52
342	0	68	0	5	60	3	3	64	1	10	58	
343	1	66	1	3	60	5	2	63	3	13	55	
344	0	68	0	1	64	3	4	63	1	9	59	
345	0	67	1	3	65	0	2	66	0	4	64	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
一般問題 (薬学実践問題)	196	2	60	6	19	39	10	8	52	8	3	56	9	46	22
	197	0	69	0	5	61	3	5	64	0	3	59	7	30	39
	200	0	69	0	5	61	3	4	65	0	3	58	8	10	59
	202	0	68	0	3	64	1	6	59	3	2	63	3	14	53
	204	0	69	0	1	68	0	0	68	1	3	62	4	1	68
	206	0	68	0	2	65	1	4	62	2	3	62	3	6	62
	208	2	66	0	5	61	2	4	63	1	1	58	9	7	61
	210	1	66	1	2	65	1	13	54	1	4	55	9	1	67
	212	0	67	0	4	60	3	1	65	1	2	59	6	13	54
	214	0	67	1	1	66	1	4	62	2	1	62	5	8	60
	216	0	68	1	5	61	3	1	65	3	0	65	4	20	49
	218	2	67	0	4	62	3	3	64	2	0	68	1	6	63
	220	0	69	0	2	66	1	1	67	1	0	68	1	12	57
	223	0	69	0	0	67	2	2	67	0	0	64	5	17	52
	225	0	69	0	4	63	2	7	58	4	2	63	4	16	53
	226	1	66	2	7	51	11	1	64	4	2	63	4	33	36
	228	1	65	2	5	54	9	6	58	4	1	60	7	25	43
	230	0	67	0	1	65	1	2	63	2	2	62	3	13	54
	232	0	68	0	6	60	2	2	65	1	1	62	5	21	47
	234	0	68	0	0	67	1	2	66	0	3	61	4	3	65
	236	0	67	0	1	65	1	4	63	0	0	67	0	18	49
	238	0	68	0	1	67	0	5	63	0	2	64	2	7	61
	240	0	68	0	0	66	2	3	63	2	0	62	6	7	61
	242	0	64	3	4	59	4	0	64	3	0	62	5	15	52
	244	0	68	0	0	66	2	1	64	3	1	64	3	14	54
	246	0	67	0	1	65	1	5	60	2	2	62	3	15	52
248	1	64	1	5	58	3	3	56	7	2	63	1	18	48	
250	0	67	0	3	63	1	1	63	3	0	65	2	8	59	
253	0	67	0	0	65	2	3	62	2	0	67	0	10	57	
255	0	66	0	0	66	0	2	64	0	0	66	0	3	63	
256	0	68	0	1	67	0	0	68	0	0	67	1	3	65	
258	0	68	0	2	65	1	2	65	1	1	65	2	6	62	
261	0	66	1	2	65	0	3	63	1	0	67	0	13	54	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
	263	0	68	0	0	66	2	2	65	1	0	66	2	11	57
	264	0	68	0	1	67	0	3	64	1	1	66	1	5	63
	266	0	68	0	0	68	0	0	68	0	0	67	1	2	66
	268	0	68	0	1	67	0	0	68	0	3	62	3	3	65
	270	0	68	0	1	67	0	1	63	4	1	67	0	2	66
	272	1	64	3	8	51	9	7	54	7	2	60	6	11	57
	274	1	67	0	5	61	2	4	64	0	0	66	2	14	54
	276	0	68	0	0	68	0	1	67	0	0	67	1	4	64
	278	0	68	0	1	67	0	0	68	0	0	64	4	1	67
	280	0	68	0	1	66	1	2	66	0	0	68	0	9	59
	282	0	67	1	5	59	4	5	59	4	1	66	1	15	53
	284	0	68	0	2	64	2	3	62	3	0	67	1	11	57
	287	0	68	0	3	62	3	1	64	3	2	64	2	5	63
	288	0	68	0	0	68	0	0	66	2	0	67	1	3	65
	291	3	60	5	4	58	6	8	52	8	0	65	3	11	57
	292	1	67	0	4	61	3	1	66	1	0	63	5	8	60
	294	0	68	0	1	64	3	2	65	1	0	68	0	6	62
	296	0	69	0	0	68	1	2	65	2	2	67	0	5	64
	298	0	69	0	2	66	1	0	67	2	3	64	2	9	60
	301	3	63	3	3	65	1	3	60	6	0	62	7	8	61
	302	0	69	0	2	66	1	0	69	0	1	68	0	2	67
	305	0	68	1	4	59	6	2	63	4	0	64	5	20	49
	306	0	68	0	2	63	3	8	59	1	4	60	4	10	58
	309	0	67	1	1	64	3	2	64	2	2	64	2	13	55
	310	0	67	1	2	63	3	3	65	0	4	60	4	9	59
	312	0	68	0	0	68	0	0	68	0	1	66	1	1	67
	314	1	67	0	0	68	0	2	65	1	1	66	1	4	64
	316	0	68	0	1	65	2	0	67	1	0	66	2	17	51
	318	0	68	0	1	64	3	1	67	0	1	63	4	19	49
	320	1	67	0	2	65	1	2	64	2	0	68	0	4	64
	322	0	68	0	1	66	1	2	66	0	0	64	4	9	59
	324	0	68	0	0	63	5	1	65	2	1	65	2	5	63

一般問題
(薬学実践問題)

(注)無回答:「わからない(判断できない)」を表す。また、数字は回答大学数である。